

# 特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

## 目的

### ①課題

大阪府立知的障がい支援学校高等部卒業生徒の就職率がH30年度は28.7%（全国平均は34.0%）

各支援学校の就職率にもばらつきがあった。

### ②課題を踏まえた目的

府として、さらなる就職率向上とそれに向けた授業改善、授業力向上、関係機関とのネットワーク化等の課題解決を図る。



## 成果

### ①得られた成果

- ・キャリア教育の視点を取り入れた教育課程の改善
- ・地域資源を活用した校外職業体験活動の機会の増加
- ・卒業後の生活を見据えた福祉連携の強化等、切れ目ない支援体制の構築

### ②成果を踏まえた今後の取組

プロジェクトチームを中心に、教員研修や取組内容の重点項目を定め、実践を進めていく。取組内容については、評価・検証を行い、学校全体で取組む体制作りを引き続き行う。

## 事業内容

### ①「個別の教育支援計画」などの活用内容

キャリアプランニングマトリクスを用いて実態把握を行うとともに、個別の教育支援計画の中長期目標を設定し、情報の引継ぎを行った。また、高等部生徒が企業体験実習や福祉施設実習等を行うにあたっての事前資料として活用した。

### ②キャリア教育推進アドバイザーの活動内容

発達心理学・特別支援教育の専門家(大学教授)をキャリア教育推進アドバイザーとして学校に派遣し、指導・助言を受けるとともに、研究協議の開催や全教職員を対象とした研修会を実施した。

### ③地域連携に関する活動内容

農業従事者をジョブコーチとして招いて農機具の使用方法等の指導を受けた他、地域自治会及び学校所在地の自治体に働きかけ、職業・農園芸の授業内で栽培した野菜を地域公民館で販売した。

### ④普及啓発内容

令和3年度にモデル校の2校の取組状況について中間報告会を府内支援学校の進路担当教員等を対象に実施。令和4年度は、モデル校2校の取組みについて成果報告書を冊子にまとめ、府内支援学校へ配布。事業成果を府のホームページで公開する。

